

「国生みの島 淡路島」 記紀神話は国生み神話の最初に淡路島を挙げる。

また 淡路島北部の津名丘陵周辺からは、弥生中期から後期にかけての大規模な鍛冶工房跡である「五斗長垣内遺跡」。さらに瀬戸内を見晴らす津名丘陵の上には 舟木遺跡を中心とする鉄器加工や製塩・干イダコなどの生産工房を持つ山間地集落群が展開していたことが、明らかになってきた。

一方、淡路島南部の三原平野からは弥生時代の終焉を告げると言われる大量の埋納銅鐸（松帆銅鐸）が出土した。朝鮮半島の鉄素材の確保と流通支配が最も重要 だった日本の国造り（国生み）の時代を読み解く重要な発掘が「国生みの島、淡路島」で相次いでいる。

国生み神話はあったものの、ほとんど注目されてこなかった淡路島ですが、

「卑弥呼の時代から初期ヤマト王権への転換を読み解く鍵を握っている」と今にわかに淡路島に注目が集まっている。



多くの人たちの目は「国生み神話」や「卑弥呼と初期大和ヤマト王権」や「松帆銅鐸」に向いているが、これらの事象が生まれた淡路島の実像をもっと具体的に知りたい。

津名丘陵の山間地に展開された鉄器加工や製塩など生産工房村群とその中心舟木遺跡は淡路島の海人たちの生業・交易をうかがわせ、今 淡路島の海人たちの役割を大きくクローズアップするとともに、淡路島で出土した鉄器工房の実像にも新たな光をあてる。

この時代 鉄素材を中心とした半島交易は 卑弥呼の邪馬台国・大和王権の生命線

「淡路島での鉄器加工や製塩・特産品の生産工房 そして航海術に優れた海人たち」

半島交易の中心的な担い手が「淡路島並びに淡路島の海人たち」との構図が注目される。

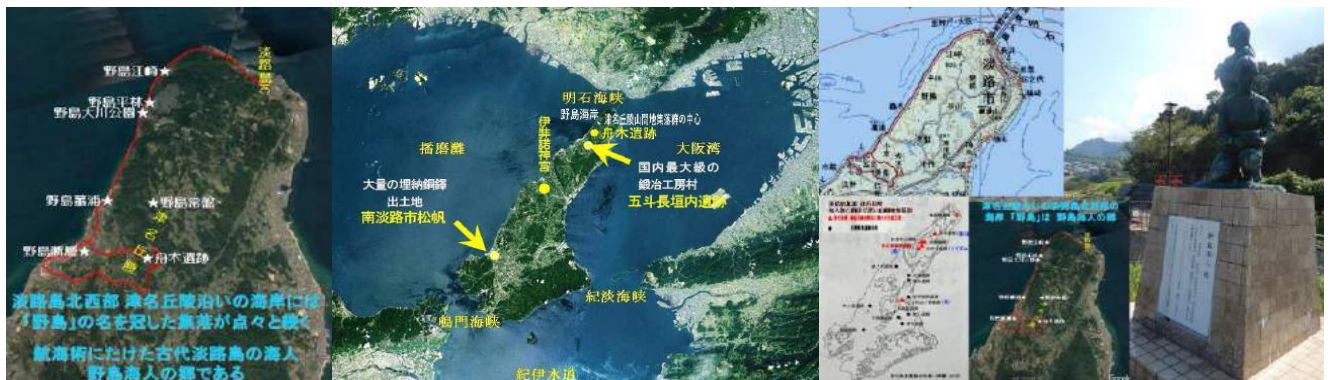
まさに 「国生み神話の島から 国生みの島」へ 淡路島の姿が変貌する。

文字記録のない謎に包まれてきた卑弥呼・初期大和王権の時代、まだ 鉄素材を製造できぬ日本の国造り 具体的な実像がよくわからぬ鉄の時代の謎解きのkey が淡路島にあるかもしれぬ。

現地をしっかりと歩かねば。。。。。

是非歩きたいと思いながら行けなかった舟木遺跡へ

中央を南北に津名丘陵が走る淡路島北部 西に瀬戸内の海が広がる野島海人の郷 野島海岸から東に見上げる津名丘陵の山間地 舟木集落遺跡。好奇心と興味を頭にいっぱい詰めて訪ねることに。



◎ 津名丘陵が走る淡路島西北海岸には「野島」と頭につく郷が転々と続き、古代航海術にだけた「野島海人」の里という。また、淡路島南部にも三原の海人がいたと聞く。航海術にだけ、朝鮮半島・日本各地と交易する淡路の海人たちの初期ヤマトとの密接な関係が「記紀」に記載されている。

瀬戸内から朝鮮半島へ航路をつないだこの海人たちの活躍が畿内へ鉄器や製塩他の先進技術・文化をもたらし、暮らしを変えていったに違いない。

(淡路島の「国生み神話」の原型も海人たちの伝承を初期大和王権が取り込んだとの説もある。)

◎ 背後の丘陵には 海人と密接な関係を示す鉄製漁具などの鉄器加工・製塩・干イダコなど生産工房を営む山間地集落群が出現する。その中心が野島海岸背後丘陵の頂上部に出現した舟木集落遺跡である。生産工房の先進技術・文化は淡路の海人たちが、畿内に先立って持ち込んだのではないかと

「舟木遺跡を中心とした山間地集落遺跡群は海人たちの交易拠点」との姿が浮かび上がってきている。

◎ 「淡路島の国生みと関係する」と注目を集める鉄器加工・鍛冶工房。畿内ではまだ鉄器が広く普及していない時代であり、出土品の主は漁具などの小さな実用鉄器で、武器は出土していない。常々頭にある淡路島対岸の六甲の山裾の高地性集落会下山遺跡からは鉄鏃などの武器が出ており、鉄器工房の性格を考える上で、今後重要なポイントになるのではないかと・・・・・・・・。

「国生みの島」淡路島の発掘調査は津名丘陵 舟木集落遺跡も含め、まだほんの一部である。これから何がでてくるのか 期待いっぱい。そんなこともあって、是非現地をしっかりと歩きたい。国内最大級の鍛冶工房村 五斗長垣内遺跡の出土以来 何度もでかけたこの淡路島北西部沿岸の丘陵地ですが、五斗長垣内遺跡以外に山間地集落遺跡周辺を歩いたこと無し。また 野島の海岸もいつも海を眺めながらバスしてきた場所。

国内最大級の鍛冶工房村 五斗長垣内遺跡の出土以来 何度も訪れた淡路島、和鉄の道・Iron roadにも淡路島の探訪記録掲載していますが、いずれも断片的で淡路島の実像に迫れず。

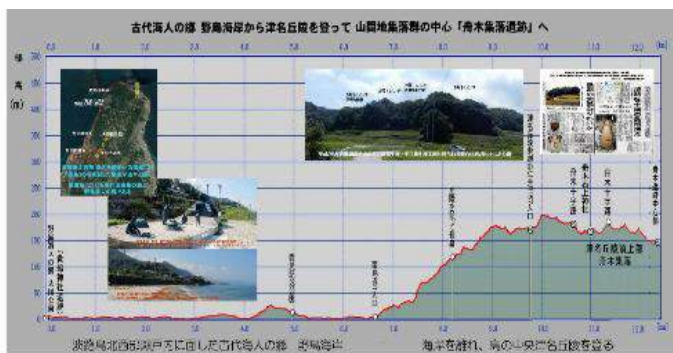
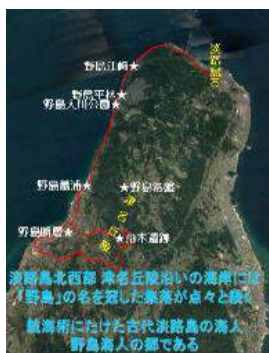
余り頭になかった「野島海人の郷」や「津名丘陵舟木遺跡周辺」をしっかりと歩きたいと期待をつらせ、この夏の終わりに 淡路島西北部の野島海岸から津名丘陵の頂上部の舟木集落へ出かけました



野島海岸を見降ろす津名丘陵頂上部の舟木集落沿って広がる弥生後期の山間地集落群の中心 舟木遺跡

【現地探訪 Photo 抜粋】

国生みの淡路島 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】現地探訪 2018.8.29.
 古代淡路島の海人の郷 野島海岸から津名丘陵を登って 弥生後期の山間地集落群の中心舟木遺跡へ



1. 瀬戸内を見晴らす古代の野島海人の郷 淡路市野島大川公園 古代の貴船神社製塩遺跡 野島大川の海岸の遺跡跡に復元された古代の製塩と野島海人像
2. 野島海岸 北淡震災記念公園より東の津名丘陵を登り、丘陵の上部「舟木集落」へ
3. 国生みの時代 津名丘陵の頂上部の山間地集落群の中心だった「舟木集落」
4. 今なお残る「女人禁制」の舟木石上神社（古代の祭祀場 舟木石神座） 北緯34度32分の線 春分&秋分の日に太陽が通る「太陽の道 日の神信仰」の一番西の端の磐座 林に包まれた磐座の後側にも幾つも巨石・石組があり、2000年を経る今も守り継がれている祭祀場
5. 海人たちの交易拠点 生産工房を持つ山間地集落群の中心【舟木遺跡】
6. 舟木集落から真っ直ぐ西の野島海岸へ下る

1. 淡路市野島大川公園 古代の貴船神社製塩遺跡

「瀬戸内を見晴らす古代の野島海人の郷 野島大川」の海岸の遺跡跡に復元された古代の製塩と野島海人像



野島の浦に位置する古墳時代から奈良時代にかけての製塩遺跡。熱効率の良い石敷炉が発見され、大量生産した塩は王権にも供されたと考えられる。日本書紀に登場する「野嶋の海人（あま）」の活動拠点とされ、現在は海人が生業とした土器製塩の様子をモニュメントで 見ることができる。 (淡路島 日本遺産 貴船神社遺跡 <http://kuniuni-awaji.jp/heritage/16kifune/> より)



2. 野島海岸 北淡震災記念公園より 東の津名丘陵を登り、丘陵上部の舟木集落へ



津名丘陵の山裾がすぐ横に迫る一本道 海岸道路を南の野島北淡震災公園へ 反対側には津名丘陵の山並みがみえる



車のナビ通り、南の富島から東へ県道71号に入り、津名丘陵の山腹を斜めに登り、通って、津名丘陵を登って、長島の集落から丘陵の最上部 仁井の集落から北へ丘陵の最上部を北に走る県道157号を舟木集落にゆく 9:55

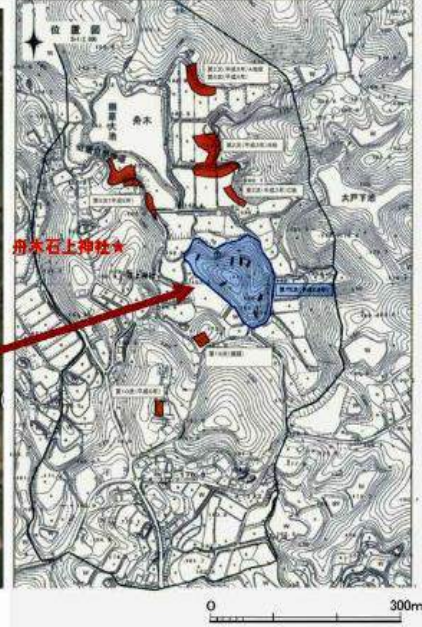
津名丘陵の山腹を斜めに登り、通って、津名丘陵を登って、長島の集落から丘陵の最上部 仁井の集落から北へ丘陵の最上部を北に走る県道157号を舟木集落にゆく



3. 国生みの時代 津名丘陵の頂上部の山間地集落群の中心だった「舟木集落」



舟木遺跡の位置と遺跡エリア 現在はすべて埋めもどされ、遺構は見られないが、舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す



舟木神社 舟木石上 【1】 この遺跡からも倉生時代の遺構が出土 今もなお舟木集落の中心として栄えている



舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

舟木集落の廻り所 舟木神社社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

陽西国につながる瀬戸内と東の大阪湾から畿内そして大和へつながる淡路島の位置が海人の存在と相まって この山間
淡路島の中央を南北に連なり炉、海岸に迫る津名丘陵 そして 丘陵を乗越せば簡単に反対側に出られる。
まさしくこの乗越の位置にある舟木遺跡。交通路の要衝の位置にあり、海岸をたどるのが古代の幹線道の固定観念が覆
る。津名丘陵の上は今も温暖な気候を利用した田園がひろがっている。今回は津名丘陵の東側へは乗越さなかったが、
東側も今は田園地が広がる豊かな地。そして 丘陵の上を南北に明石から鳴門へ本四連絡道が貫いている。
国造りの時代にも津名丘陵の上を幹線道路が貫き、それらと海岸をつなぐ道路網があっても何ら不自然
でないとおもえる。舟木遺跡と山間地集落群はそんな視点も教えてくれる。

6. 舟木集落から真っ直ぐ西の野島海岸へ下る



舟木集落から、津名丘陵をまっすぐ西の野島へ
集落を抜けて急な坂道を下りました 2018.8.29.



舟木集落の下へ、急な坂をジグザグに下る 2018.8.29.
野島から津名丘陵を眺めに途中まで登ったところだった



野島の上の谷間、ジグザグの坂道の上の津名丘陵の麓上側にある舟木集落を眺める【2】
2018.8.29. 11:05

卑弥呼・初期大和連合の国造りの始まり

畿内で 先駆けて鉄器文化を持ち込みにほんのくにつくりで役割を演じたとみられる
淡路島 国生み神話の実像が見えてきた。

巧みな航海術を持つ淡路島の海人たちが淡路島山間地に鉄・塩などの生産工房を持ち、
広く交易拠点として活躍し、日本の国造り「国生み」に役割を演じたろう。

また、この舟木集落の中心にある舟木石上神社・舟木石神坐（磐座）が、
女人禁制として今尚祀られているのを知り、びっくりする。
卑弥呼のイメージもだぶらせ、思いつきかもしれませんが、
国生み神話とこの集落の結びつきにも思いを馳せています。

弥生後期の津名丘陵に五斗長垣内遺跡に続く鉄器工房の出土に是非とも訪ねてみた
かった舟木遺跡。うれしい津名丘陵の山間地集落の中心 舟木遺跡探訪となりました。

明石大橋を渡りながら 2018.8.29. Mutsu Nakanishi



卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実に
津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.

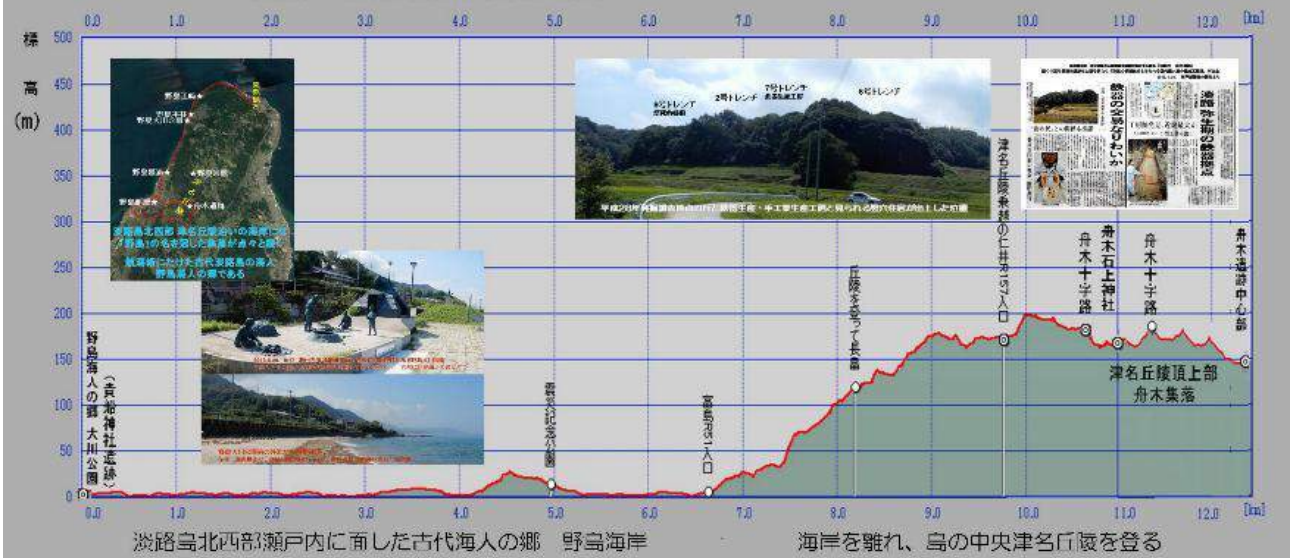
国生みの島 淡路島 弥生後期の淡路島北部の津名丘陵
海人族と密接な鉄器加工・製塩などの生産工房を持つ山間地集落群が出土

毎日 明石海峡越しに眺める 淡路島 津名丘陵
国生みが現実に!!
でも 調査はまだ これから 楽しみにしています

2018.9.5. Mutsu Nakanishi



古代海人の郷 野島海岸から津名丘陵を登って 山間地集落群の中心「舟木集落遺跡」へ



【 参考資料 書き写し引用資料・図表 & インターネット検索 】

◆ 弥生時代後期 淡路島山間地集落群とその中心 舟木遺跡 参考図 ◆

弥生時代の後期 津名丘陵周辺に出現した弥生の集落遺跡 と山間集落群

No.	遺跡名	丘地 (標高)	時期				特徴
			前期	中期	後期	終末期	
1	天神遺跡	15m					大層系燧石斧、石包丁
2	楳入遺跡	10m					木田
3	楳木下林遺跡	17m					
4	栢遺跡	10m					
5	宮島遺跡	8m					築地土器
6	畑田遺跡	8m					築地土器
7	鳥船神社遺跡	8m					築地土器
8	五年長塚内遺跡	200m					縄文遺構・鉄器・彩色磁器・イダコ壺
9	舟木遺跡	180m					大型製六唐物跡・製瓦土器
10	山ノ神遺跡	187m					古石・鉄器
11	楳ノ平遺跡	210m					大型製六唐物跡・古石・鉄器・イダコ壺
12	穴蔵遺跡	260m					イダコ壺
13	久野々遺跡	270m					鉄杖跡
14	おぎわら遺跡	260m					ヤリガンシ
15	大坂遺跡	106m					築地土器・土器
16	行免形遺跡	185m					築地土器
17	栗山遺跡	122m					大型製六唐物跡
18	尾ヶ岡遺跡	130m					
19	塩巻西遺跡	60m					大型製六唐物跡
20	塩巻東遺跡	40m					大型製六唐物跡

注：凡例 ●●●遺構を復出 ●●●遺物が出土

弥生時代の後期 津名丘陵周辺に出現した山間集落群

津名丘陵周辺 稲作が行えぬ高地に出現した軍事的性格を持たぬが、生産工房など多様な生活様式を営む弥生時代後期の集落遺跡群。
島では海岸よりも山間地を貫く方が幹線道路として機能しやすかった事情で生まれたとする向きもあり、流通の拠点集落と考えられている

大阪弥生文化博物館 2016.5.29.伊藤幸幸氏講演スライドより

舟木遺跡の位置と遺跡エリア 現在はすべて埋めもどされ、遺構は見られないが、舟木集落の掘り所 舟木石神社へ行き、平成28年度発掘調査で鉄器工房が出土した丘周辺へ行く道を探す

八阪神社

舟木石上神社 (舟木石神座)

H28・29発掘調査丘陵

舟木石上神社★

0 300m

◆ 和鉄の道・Iron road 「国生みの淡路島」関連の主要記事リスト ◆

1. 卑弥呼の時代を解き明かす? 淡路島弥生後期の大山間地集落群淡路市舟木遺跡
弥生期の鉄製ヤスガ出土 海の民や北部九州とのつながりを示す? 神戸新聞より 2018.3.23.
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018iron/18iron03.pdf>
 2. 淡路島弥生時代の鉄器拠点「淡路市 舟木遺跡」鉄器の交易をなりわいか?
近くの五斗長垣内遺跡を上回る新たな「弥生の鉄器拠点 国内最大級の鍛冶工房跡」が出土
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/iron13/1702funaki00.htm>
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/2017iron/17iron01.pdf>
 3. 大阪弥生文化博物館 2016 年春季特別展第 3 回考古学セミナー
淡路市教委 伊藤宏幸氏講演「淡路島 五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」
聴講 まとめ by Mutsu Nakanishi 2016. 5.28.
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607awaji00.htm>
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016iron/16iron07.pdf>
 4. 淡路文化資料館 淡路市教育委員会 伊藤宏幸氏講演資料 2015.12.12.
「淡路島の弥生時代と山間地集落 五斗長垣内遺跡と舟木遺跡」
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/iron13/1702funakiR3awajiregime.pdf>
 5. 弥生後期から卑弥呼の時代へ ベールを脱いだ「弥生のIron Road 和鉄の道」
淡路島 五斗長垣内遺跡の謎 シンポ 2010.11.21. 聴講 して
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012gossa00.htm>
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010iron/10iron14.pdf>
 6. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ 国家形成の時代を動かした「鉄」
2010 年秋 関西各地で開催された特別展とそのシンポジウム & 連続講演会 聴講まとめ
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012hmko00.htm>
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010iron/10iron13.pdf>
 7. 淡路島 松帆銅鐸は出雲と同じ鋳型の兄弟銅鐸 国生神話の出雲・淡路は強い結びつき 2016.10.14. .
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016iron/16iron14.pdf>
 8. 「伊弉諾神宮 国生み神話の島」 淡路島で 大量の埋納銅鐸出土【1】 2015.5.20.
大和の進出による新旧勢力交代による 国づくりの始まりを示すのか?
国譲り神話の出雲の大量の埋納銅鐸出土（加茂岩倉・荒神谷遺跡）とそっくり
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/1506doutaku00.htm>
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/2015iron/15iron10.pdf>
 9. 「伊弉諾神宮 国生み神話の島」淡路島で大量の埋納銅鐸出土【2】 2015.7.1
南淡路でみつかった埋納銅鐸 松帆銅鐸（弥生時代前期末～中期前半）
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/2015iron/15iron11.pdf>
 10. 近畿 弥生時代後期 淡路島に西日本最大級の鍛冶工房村が現れた時代の 2・3 世紀 2011.3.5.
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/11iron01.pdf>
 11. 南北市糶（してき） 朝鮮半島と倭を結ぶ「和鉄の道」 2011.9.1.
魏志倭人伝の時代 朝鮮半島の鉄との交易品は何か・・・
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/11iron01.pdf>
- 番外 1. 淡路・出雲・高千穂 三大神話の郷に伝わる 神楽の競演
【スライド動画】淡路島伊弉諾神宮 三大神話 神楽祭 2011.9.23.
■ HTML : <http://www.infokkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1110awaji00.htm>
- 番外 2. 弥生の高地性集落【4】 弥生の高地性集落に「弥生の戦」・「日本人のルーツ」を探して
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/6iron14.pdf>

◆ 新聞記事 & インターネット 参考資料 ◆

【PDF 資料】

1. インターネット検索 & Iron Road 資料整理
「国生み淡路島の実像 -津名丘陵山間地集落群の中心集落 舟木遺跡 概要-」 2018.8.25.
◎ 淡路島北部 瀬戸内海を見晴らす古代の海人の郷 淡路市野島
◎ 畿内に先駆けて鉄器文化を取り入れ、鉄器加工や製塩など生産工房群を展開した
山間地集落群の中心 舟木遺跡
■ PDF : <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1809awaji%20funakiwebkensaku.pdf>
2. 平成 28 年度舟木遺跡の発掘調査成果について 淡路市教育委員会(資料アレンジ整理) 2018.1.24.
■ PDF : <http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/kisya28/2901/290125funaki.pdf>
3. 平成 29 年度 舟木遺跡の発掘調査成果について 淡路市教育委員会 2018.3.25.
■ PDF : https://www.city.awaji.lg.jp/uploaded/life/22931_51066_misc.pdf
4. 広報淡路 2018 年 5 月号 近畿初の鉄製ヤスが出土 2018.5.5.
■ PDF : <https://www.city.awaji.lg.jp/uploaded/attachment/20384.PDF>

【淡路島 舟木遺跡・松帆銅鐸 関係新聞報道記事 & インターネット検索収集】

1. 2018. 3. 23. 神戸新聞掲載記事 弥生期の鉄製ヤス出土
2. 2017. 1. 26. 神戸新聞掲載記事 淡路 弥生期 鉄器拠点 & 鉄器の交易なりわいか ほか
3. 神戸っ子 2016年3月号 掲載記事 舟木遺跡
4. 『神戸・兵庫の郷土史』Web 研究館 淡路島の大規模鉄器生産基地をうかがわせる「舟木遺跡」
<http://kdskenkyu.saloon.jp/tale70fun.htm>
5. 淡路市教育委員会 2017. 1. 24.
淡路市国生みプロジェクト成果発表 平成 28 年度 舟木遺跡の発掘発掘調査成果について
6. 淡路市教育委員会 2018. 3. 15.
平成 29 年度 淡路市国生みプロジェクト 舟木遺跡発掘調査成果報告会資料
7. 2018. 3 3 神戸新聞NEXT 淡路で古代史シンポ 海人や国生み神話に新視点
海人や国生み神話をめぐるシンポジウム「淡路島古代史の魅力を探る」より
<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201803/0011034677.shtml>
8. 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～
淡路市教育委員会 社会教育課長 伊藤宏幸
http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/pdf/nihon_isan30.pdf
9. 貴船神社遺跡 (緑の道しるべ大川公園) & 野島の海人
淡路島日本遺産 貴船神社遺跡 <http://kuniyumi-awaji.jp/heritage/16kifune/> ほか
10. 宮本常一「海に生きる人々」 1964. 8
11. 日本書紀などに記された淡路島の海人
「大和國家の成立～神武東征伝承～」 <https://ameblo.jp/taishi6764/entry-11977217634.html>
2018. 3 3 神戸新聞NEXT 淡路で古代史シンポ 海人や国生み神話に新視点
海人や国生み神話をめぐるシンポジウム「淡路島古代史の魅力を探る」より
<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201803/0011034677.shtml>

◆ Web 収蔵 File 和鉄の道・Iron Road 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】現地探訪

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1809awaji%20funaki00.htm>

◎ mp4 スライド動画【8:25・41MB】

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1809awaji%20funaki.mp4>

◎ スライド原図 Photo Album【129P・18MB】

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1809awaji%20funaki%20photo.pdf>

卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実
津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.

国生みの島 淡路島 弥生後期の淡路島北部の津名丘陵
海人族と密接な鉄器加工・製塩などの生産工房を持つ山間地集落群が出土



国生み神話の淡路島が 卑弥呼の時代から古墳時代の日本の国造り謎を解き明かす？
淡路島日本遺産 弥生後期から終末期 津名丘陵の山間地集落群の中心集落 舟木遺跡探訪 2018.8.29.

- ① 淡路島北部 瀬戸内海を跨る古代の海人の郷 淡路市野島
- ② 畿内に先駆け鉄器化を遂げた、鉄器加工や製塩など生産工房を擁した山間地集落群の中心 舟木遺跡を巡る



卑弥呼の時代を解き明かす？ 淡路島
弥生後期の山間地集落群 淡路市舟木遺跡から弥生期の鉄製ヤス出土
青の灰や北九州とのつながりを示す？ 2018.3.23 神戸新聞より

昨年11月20日に淡路島北部津名丘陵 弥生後期の山間地集落群の中心集落淡路市舟木遺跡から「かえし」がある弥生時代の鉄製ヤスの鉄器加工の先駆けと推定された鉄製のヤスが出土した。
国生み神話が、国造り謎の解き明かす鍵となる。弥生後期の山間地集落群の中心集落淡路市舟木遺跡から、弥生時代の鉄製ヤスの出土。これにより、弥生時代の鉄器加工の先駆けと推定された鉄製のヤスが出土した。弥生時代の鉄器加工の先駆けと推定された鉄製のヤスが出土した。弥生時代の鉄器加工の先駆けと推定された鉄製のヤスが出土した。



2016.5.28 大阪弥生文化博物館2016年春季特別展セミナー
淡路市教育委員会 伊藤宗幸氏講演資料より
「和鉄の道」 <http://www.fukui-koban.com/irocad/2017/04/01/201704010001.htm> より

品名	数量	出土地	用途	時期
鉄製ヤス	100	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	50	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	30	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	20	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	10	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	5	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	3	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	2	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期
鉄製ヤス	1	淡路島北部	鉄器加工	弥生後期

津名丘陵周辺 屈折が行えぬ高地に出現した軍事的性格を持たぬが、生産工房など多様な生活様式を営む弥生時代後期の集落遺跡群。屈折は海岸よりも山間地を築く方が幹線道路として機能しやすかった事情で生まれたとする向きもあり、淡路島の集落と推定されている。五斗長垣内遺跡も山間地集落群の一つ。また舟木遺跡は終末期まで続く山間地集落遺跡の中心とみられている。

淡路島北部を南北に走る津名丘陵 その西北域の海岸は航海術にだけた古代野島海人の里 航海術にだけ、朝鮮半島・日本各地と交易する淡路の海人の大和との密接な関係が記録されている

1. 淡路島の西北部海岸 野島海人の郷 野島 弥生後期の製塩工房 貴船神社遺跡 淡路市野島大川
2. 津名丘陵の山間地集落群の中心 交易拠点 弥生後期 鉄器など生産工房を持つ舟木遺跡 淡路市舟木

国生みの島 淡路島 淡路島北部を南北に走る津名丘陵 その西北域の海岸は航海術にだけた古代野島海人の里 航海術にだけ、朝鮮半島・日本各地と交易する淡路の海人の大和との密接な関係が記録されている

（淡路島の海人のルーツは安曇族といわれ、国生み神話の島型もこの海人たちの伝承を初期大和政権が取り込んだとの説もある。）
また、この弥生後期からは古墳時代初期には、背後の丘陵には「舟木遺跡」を中心に山間地集落群が出土し、集落には海人と密接な関係を示す鉄器加工・製塩などの生産工房があり、交易拠点の姿が浮かび上がってきている。
鉄器加工技術がなく、朝鮮半島の鉄に頼るこの時代、淡路島は畿内に先駆け鉄器文化を持ち込み、その生産拠点として、国づくりの先駆けを走った実像が見えてきた
国生みの神話が現実、淡路島が今注目されている。
国内最大級の鍛冶工房 五斗長垣内遺跡の出土以来、何度ももかけたこの淡路島西北部沿岸の丘陵地ですが、五斗長垣内遺跡以外に山間地集落群を歩いたこと無し。
ぜひとも 舟木遺跡周辺を歩いてみたいと期待をつづのらせながら、この夏の終わりに淡路島へ

明石海峡越しに旗振り山から眺める淡路島北部中央を海へ伸びる津名丘陵



卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実
弥生時代後期 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.

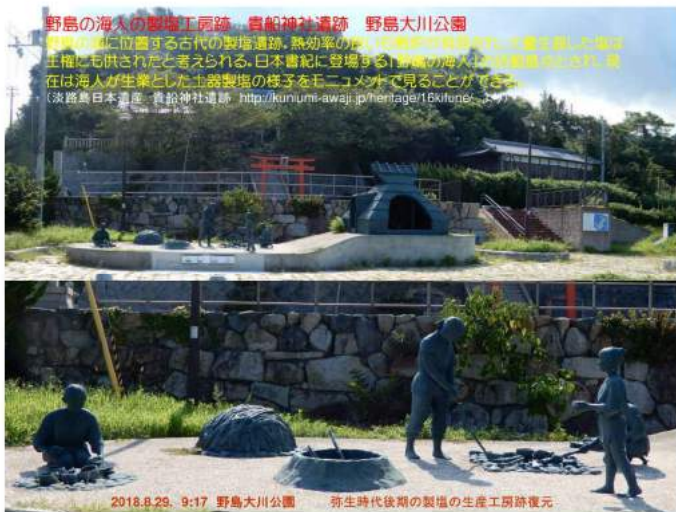
1. 淡路島の西北部海岸 野島海人の郷 野島 弥生後期の製塩工房 貴船神社遺跡 淡路市野島大川
2. 津名丘陵の山間地集落群の中心 交易拠点 弥生後期 鉄器など生産工房を持つ舟木遺跡 淡路市舟木

国生みの島 淡路島 淡路島北部を南北に走る津名丘陵 その西北域の海岸は航海術にだけた古代野島海人の里 航海術にだけ、朝鮮半島・日本各地と交易する淡路の海人の大和との密接な関係が記録されている

（淡路島の海人のルーツは安曇族といわれ、国生み神話の島型もこの海人たちの伝承を初期大和政権が取り込んだとの説もある。）
また、この弥生後期からは古墳時代初期には、背後の丘陵には「舟木遺跡」を中心に山間地集落群が出土し、集落には海人と密接な関係を示す鉄器加工・製塩などの生産工房があり、交易拠点の姿が浮かび上がってきている。
鉄器加工技術がなく、朝鮮半島の鉄に頼るこの時代、淡路島は畿内に先駆け鉄器文化を持ち込み、その生産拠点として、国づくりの先駆けを走った実像が見えてきた
国生みの神話が現実、淡路島が今注目されている。
国内最大級の鍛冶工房 五斗長垣内遺跡の出土以来、何度ももかけたこの淡路島西北部沿岸の丘陵地ですが、五斗長垣内遺跡以外に山間地集落群を歩いたこと無し。
ぜひとも 舟木遺跡周辺を歩いてみたいと期待をつづのらせながら、この夏の終わりに淡路島へ

明石海峡越しに旗振り山から眺める淡路島北部中央を海へ伸びる津名丘陵





野島の海人の製塩工跡・貴船神社遺跡 野島大川公園

野島大川公園に位置する古代の製塩遺跡。熱効率の良い石製炉が特徴。土器を焼いた塩土器にも使われたと考えられる。日本書紀に登場する「野島の海人」の製塩場とされ、現在は海人が生業とした土器製造の様子をモニュメントで見ることができ、

(淡路島日本遺産 貴船神社遺跡 <http://kuniumi-awaji.jp/heritage/16kifone/>)

2018.8.29、9:17 野島大川公園 弥生時代後期の製塩の生産工跡復元



野島大川公園前の砂浜が古瀬田遺跡
左手 海岸側まで 遺跡跡地が残り、右が 遺跡内海 塩池に面した海岸側

2018.8.29、9:17 瀬戸内海 瀬田遺跡(野島) 貴船神社跡がある野島大川公園
野島大川公園前の砂浜が古瀬田遺跡

貴船神社遺跡

ここ大川公園一帯は、弥生時代中期から古墳時代にかけて塩づくりを行っていた貴船神社遺跡が存在していました。兵庫県では、はじめの石製炉が確認された遺跡であり、塩づくりの課程が推測できる貴重な遺跡です。播磨灘に面した海岸部に立地しており、石市から西播磨の海岸はもとより瀬戸内海に浮かぶ家島諸島、小豆島や吉野まで遠征できます。塩づくりの遺跡は弥生時代末から奈良時代にかけて長期にわたって継続しています。

塩づくりには、濃縮した海水を作る行 とその塩水を蒸発して塩を取り出す2つの工程があります。そのはじめの工程には「万葉集」に記される「煮塩焼き」をあてる考えがありますが、今回は明らかではありません。調査で明らかになったのは塩を取り出す工程です。濃縮した塩水を製塩土器に入れ、石製の炉に並べて蒸発め塩を取り出す作業を行っており、炉跡が22基以上確認されています。そのうちの19基は古墳時代末から奈良時代で、大飯浦沿岸では塩づくりが盛んな時期にあたります。

また、塩づくりに関わった古代人は万葉集や日本書紀にみられる野島海人と考えられます。貴船神社遺跡でも鹽にも塩づくりをした跡が野島海人の活躍したことを窺わせるかもしれません。

出土品は多量の製塩土器の他に須恵器・土師器・弥生土器・新羅陶器・黒色土器・石器・鉄器・銅製用具があります。最も古い時期の遺物は弥生時代中期末(約1800年前)の墓があります。製塩土器は、弥生時代末から出土しています。これから遺跡が興隆する奈良時代まで製塩土器がみられています。製塩土器が多いのは古墳時代末から奈良時代で、この時期が貴船神社遺跡の塩づくりの中心と考えられます。

野島海人が使ったと思われる遺物に鉄製釣針・タコ壺・船形土製品があります。海との繋がりを示すものとして興味深い資料です。その他注目される遺物として新羅陶器があります。朝鮮半島から運ばれてきた土器で、野島海人と海との関係の深さを示すものです。抱手にへうで焼かれた顔が大空ユーモラスです。

北淡町教育委員会
写真資料提供 兵庫県教育委員会

貴船神社遺跡

ここ大川公園一帯は、弥生時代から古代にかけて塩づくりを行っていた貴船神社遺跡が存在していました。兵庫県では、はじめの石製炉が確認された遺跡であり、塩づくりの課程が推測できる貴重な遺跡です。播磨灘に面した海岸部に立地しており、石市から西播磨の海岸はもとより瀬戸内海に浮かぶ家島諸島、小豆島や吉野まで遠征できます。塩づくりの遺跡は弥生時代末から奈良時代にかけて長期にわたって継続しています。

塩づくりには、濃縮した海水を作る行 とその塩水を蒸発して塩を取り出す2つの工程があります。そのはじめの工程には「万葉集」に記される「煮塩焼き」をあてる考えがありますが、今回は明らかではありません。調査で明らかになったのは塩を取り出す工程です。濃縮した塩水を製塩土器に入れ、石製の炉に並べて蒸発め塩を取り出す作業を行っており、炉跡が22基以上確認されています。そのうちの19基は古墳時代末から奈良時代で、大飯浦沿岸では塩づくりが盛んな時期にあたります。

また、塩づくりに関わった古代人は万葉集や日本書紀にみられる野島海人と考えられます。貴船神社遺跡でも鹽にも塩づくりをした跡が野島海人の活躍したことを窺わせるかもしれません。

塩づくりの工程は、濃縮した海水を作る行 とその塩水を蒸発して塩を取り出す2つの工程があります。そのはじめの工程には「万葉集」に記される「煮塩焼き」をあてる考えがありますが、今回は明らかではありません。調査で明らかになったのは塩を取り出す工程です。濃縮した塩水を製塩土器に入れ、石製の炉に並べて蒸発め塩を取り出す作業を行っており、炉跡が22基以上確認されています。そのうちの19基は古墳時代末から奈良時代で、大飯浦沿岸では塩づくりが盛んな時期にあたります。

また、塩づくりに関わった古代人は万葉集や日本書紀にみられる野島海人と考えられます。貴船神社遺跡でも鹽にも塩づくりをした跡が野島海人の活躍したことを窺わせるかもしれません。

塩づくりの工程は、濃縮した海水を作る行 とその塩水を蒸発して塩を取り出す2つの工程があります。そのはじめの工程には「万葉集」に記される「煮塩焼き」をあてる考えがありますが、今回は明らかではありません。調査で明らかになったのは塩を取り出す工程です。濃縮した塩水を製塩土器に入れ、石製の炉に並べて蒸発め塩を取り出す作業を行っており、炉跡が22基以上確認されています。そのうちの19基は古墳時代末から奈良時代で、大飯浦沿岸では塩づくりが盛んな時期にあたります。

また、塩づくりに関わった古代人は万葉集や日本書紀にみられる野島海人と考えられます。貴船神社遺跡でも鹽にも塩づくりをした跡が野島海人の活躍したことを窺わせるかもしれません。

出土品は多量の製塩土器の他に須恵器・土師器・弥生土器・新羅陶器・黒色土器・石器・鉄器・銅製用具があります。最も古い時期の遺物は弥生時代中期末(約1800年前)の墓があります。製塩土器は、弥生時代末から出土しています。これから遺跡が興隆する奈良時代まで製塩土器がみられています。製塩土器が多いのは古墳時代末から奈良時代で、この時期が貴船神社遺跡の塩づくりの中心と考えられます。

野島海人が使ったと思われる遺物に鉄製釣針・タコ壺・船形土製品があります。海との繋がりを示すものとして興味深い資料です。その他注目される遺物として新羅陶器があります。朝鮮半島から運ばれてきた土器で、野島海人と海との関係の深さを示すものです。抱手にへうで焼かれた顔が大空ユーモラスです。

北淡町教育委員会
写真資料提供 兵庫県教育委員会

野島海人が使ったと思われる遺物に鉄製釣針・タコ壺・船形土製品があります。海との繋がりを示すものとして興味深い資料です。その他注目される遺物として新羅陶器があります。朝鮮半島から運ばれてきた土器で、野島海人と海との関係の深さを示すものです。抱手にへうで焼かれた顔が大空ユーモラスです。

北淡町教育委員会
写真資料提供 兵庫県教育委員会



2018.8.29、野島大川公園 弥生時代後期の製塩の生産工跡復元



熱効率が良く大量生産ができる石製炉が野島の海人たちによって、持ち込まれたと云う



2018.8.29 古代野島の海人の郷 野島大川公園前の海岸線



2018.8.29 古代野島の海人の郷 野島大川公園前の海岸線



弥生時代後期 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.
2. 津名丘陵の山間地集落群の中心 交易拠点
 弥生後期 鉄器など生産工房を持つ舟木遺跡 淡路市舟木
 2.1. 淡路島西北海岸 野島から津名丘陵へ登って 舟木集落へ
 2.2. 弥生後期 鉄器加工など生産工房を持つ舟木遺跡

9:35 野島大川公園から舟木遺跡のある津名丘陵への入口北淡震災記念公園へ向かう



2. 津名丘陵の山間地集落群の中心 交易拠点
 弥生後期 鉄器加工など生産工房を持つ舟木遺跡
 2.1. 淡路島西北海岸 野島から津名丘陵へ登って 舟木集落へ

大石 9:45



野島葦浦野から津名丘陵 大戸山周辺を遠望 2018.8.29. 9:47
 この山の右側 丘の奥に目指す舟木集落がある
 五斗長垣内遺跡のシンボなどで何度も訪れた北淡震災記念公園はすぐ南
 北淡震災記念館から淡路島西北部の海岸を離れ 東へ津名丘陵へ登ってゆけば
 目的の舟木集落・弥生後期に丘陵地に広がった鉄や製塩・干しイタコなどの加
 工・交易拠点集落群（淡路島山間地集落群）の中心「舟木遺跡」である

野島葦浦野から津名丘陵 大戸山周辺を遠望(1)
 この山の右側 丘の奥に目指す舟木集落がある 2018.8.29. 9:47



野島葦浦野から津名丘陵 大戸山周辺を遠望(2)
 この山の右側 丘の奥に目指す舟木集落がある 2018.8.29. 9:47



北淡サンビーチ横 地図を再度確認する
 震災記念館近く、カーナビは北淡路記念館の横を通過し、
 旧北淡町葦島漁港から東へ折れて 県道を丘陵地を登り、
 舟木集落へ入る コースを示している。
 でも調べた地図では 野島断崖 震災記念館から東へ折れて、
 まっすぐ丘陵地へ登れば舟木集落があるはず。



少しゆくと左手に北淡震災記念館の標識がある三叉路。
 この道に入れば、東へ道なりに丘陵地を登れば舟木集落へ行けそうであるが、
 でも 丘陵地の上は細い生活道ばかりで、道の状態はよくわからない。

南の津名丘陵の上にある五斗長垣内遺跡へ当初出かけた時に
 道が細い生活道のみで迷った経験があるので気になっている。



弥生時代後期 山間地集落群の中心
 舟木遺跡への道 概略

国土地理院の地図で「舟木遺跡」までの道は細く、
 北淡震災記念館からまっすぐ東へ津名丘陵を登れば、
 舟木集落まで行けそう。
 でも車のナビは県道を通って、津名丘陵を登って、
 南から舟木集落にゆくことをリコメントする。
 丘陵の上で車が動けなくなるのも嫌なので
 舟木集落周辺の津名丘陵を眺めに少し登り、丘陵
 地の様子を見て引き返し、ナビの通り県道を進み、
 標識から舟木集落へ入ることにする。



海岸線を離れ東へ、北淡震災記念館の標識がある三叉路を東へ入る 2018.8.29. 9:48
すぐに北淡記念館の標識が見えるが、津名丘陵の山並み、舟木集落周辺部の状況が知りたくて、そのまま東へ丘陵地を登ってゆく。



北淡震災記念館の東へ入ると淡路島北部中央を南北に伸びる津名丘陵 2018.8.29
丘陵を一段上へ上がった丘陵の上が正面に、長島の集落か？丘の上にも集落が見える
舟木の集落はもっと左手の丘の上である。また道の左側は丘陵地の斜面に沿う崖



北淡震災記念館の東へ入ると淡路島北部中央を南北に伸びる津名丘陵 2018.8.29.
道は左へループして丘陵地をの登って、舟木集落周辺の丘が見えてくる



野島断層・震災記念館の東 津名丘陵の中腹の十字路 丘陵地の正面上が舟木集落のようだが
交差する道に沿って、入り組んだ谷筋が広がる入り組んだ地形、でもこのまま行けんこともない
ナビはやっぱり県道をゆくことを進める。
なんと言っても野島断層が走る丘陵地帯、無理せずに戻って、県道を舟木集落へゆくに。



震災記念公園の東 津名丘陵中腹の十字路から眺める、舟木集落周辺 2018.8.29.



津名丘陵の中腹から見下ろす野島震災記念公園周辺の海岸部 2018.8.29
眼下には丘陵地の斜面を使った太陽光パネルがいくつも設置され、
震災記念公園から登ってきた道や海岸部が見え、随分登ったことがわかる



北淡震災記念館駐車場から眺める津名丘陵 舟木集落周辺眺望（1） 2018.8.29.



震災記念公園の東 津名丘陵へ登る道 2018.8.29.





北淡震災記念館周辺から眺める津名丘陵 舟木集落周辺遠望(2) 2018.8.29



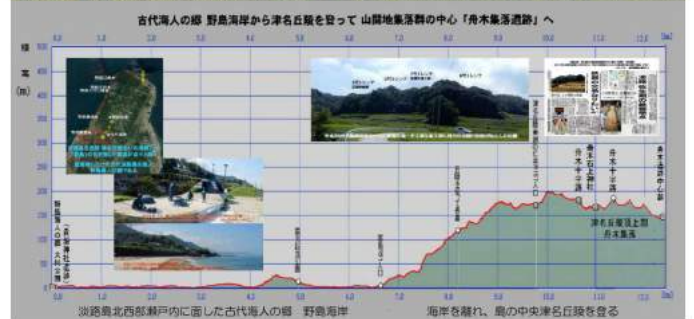
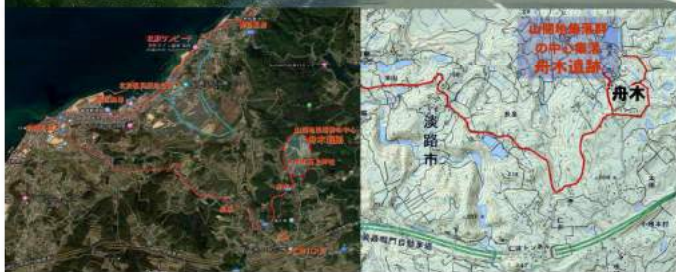
北淡震災記念館周辺から眺める津名丘陵 南東側 舟木集落から仁井周辺遠望



北淡震災記念館周辺から眺める津名丘陵 南西側 富島周辺
震災公園内には台風20号で倒れたシンボルの大型風力発電風車の残骸が見える



車のナビ通り、南の富島から東へ県道71号に入り、津名丘陵の山腹を斜めに登り、峠を越えて津名丘陵を登って、長島の集落から丘陵の最上部 仁井の集落から北へ丘陵の最上部を北に走る県道157号を舟木集落にゆく 9:59



古代海人の郷 野島海岸から津名丘陵を登って 山間地集落群の中心「舟木集落遺跡」へ



舟木集落の位置は山は多いが、幾つもの枝谷が入り組んだ山麓の感。地図には舟木集落が記載されて入るが、集落内は丘陵地の上部幾つもの丘に小さな道が入り組んで記載されているのみである。また舟木遺跡は私有地ですでに埋め戻され、勝手に遺跡の周知には入れず、道もよくわからないだろうと聞く。自動車のナビに頼って舟木石上神社まで登ってゆくことに。



海岸沿いの富島の街から東へ、島の中央、津名丘陵を乗り越えて東西の海岸線つなく県道71号線に入る



津名丘陵を東へ越える県道71号 長島集落から眺める北側 2018.8.29、10:04
左程 震災記念公園から東へ入った谷筋の下に見える



県道71号 長島集落から眺める津名丘陵の山腹に広がる棚田 2018.8.29、10:04



県道71号 長島集落から眺める津名丘陵の山脈に広がる棚田 2018.8.29.10:04



西から東へ 津名丘陵の乗越しにある仁井集落標識 2018.8.29.【1】 10:08
 県道71号は津名丘陵を乗越して、東海岸へ
 舟木集落へはすぐ先の十字路を北へ津名丘陵の上を進む県道157号に入る



西から東へ 津名丘陵の乗越しにある仁井集落標識 2018.8.29.【2】
 県道71号は津名丘陵を乗越して、東海岸へ
 舟木集落へはすぐ先の十字路を北へ津名丘陵の上を進む県道157号に入る



仁井集落から津名丘陵の上を北に走るやまと車が通る狭い県道157号
 集落のない樹林の中がわりく持った道を行く



県道157 舟木集落入口 西の富島・野島断崖から登ってきた道との十字路 2018.8.29.
 仁井の集落で教えてもらった十字路を左手 北に曲がれば舟木の集落
 あとで理解したのですが、津名丘陵を途中で登ってきた道からの道だった

Google Earth より



県道157号線手前から南へ舟木集落へは急な坂道を下る



竹林の広がる丘を南に抜けるとはっと視界がひらけ、
 津名丘陵 丘陵地の丘の上へ舟木集落に到着



津名丘陵の上にある舟木集落 到着 google earth

Google Earth



舟木神社 磐座 舟木石上座



舟木神社 磐座 舟木石上座
この周辺からも弥生時代の遺物が出土。今に至るまで、舟木の集落が守ってきた磐座。この磐座後ろ側には、磐座を取り囲んで、巨石や組石が建つもあり、祭祀の場であった。



林に包まれた磐座の後ろ側に回り込むと、廣つも巨石・石組があり、2000年を経る今も守り継がれている祭祀の場



舟木神社 舟木石上座 【2】

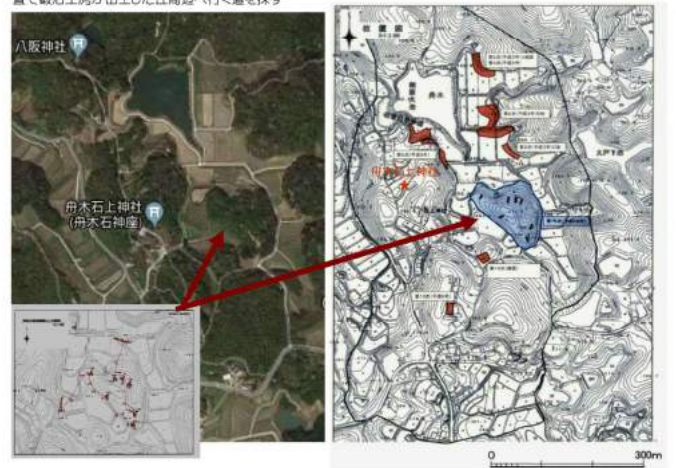


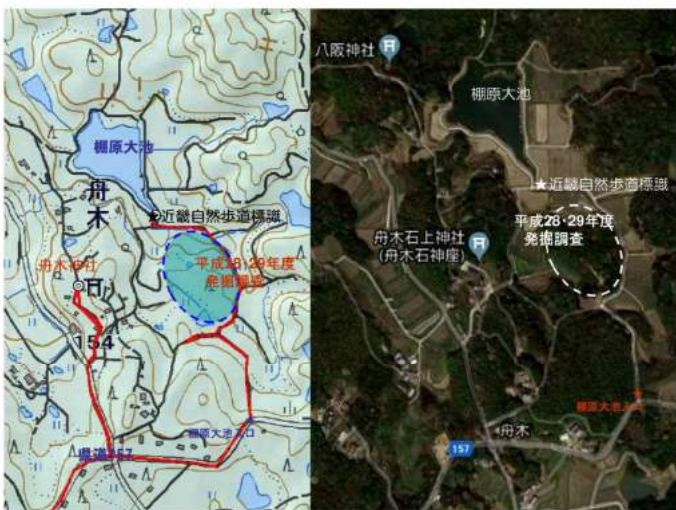
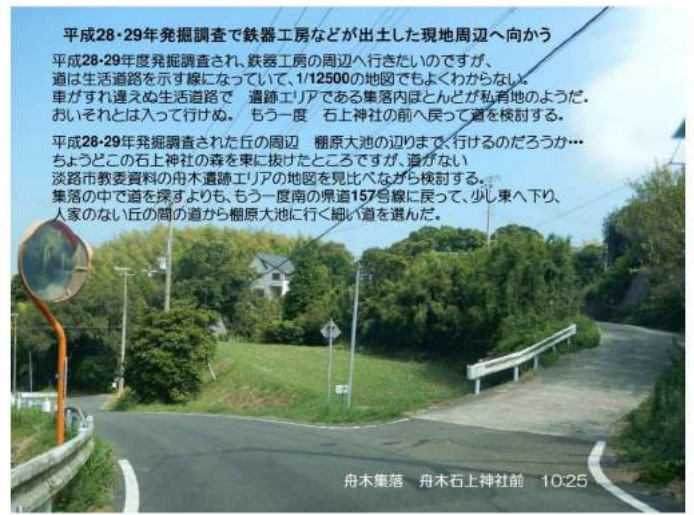
舟木神社の神域には入りませんが、下の谷筋から端の石をくわいてくわいてきました。
舟木神社の神域には入りませんが、下の谷筋から端の石をくわいてくわいてきました。



舟木神社 神域に入れぬ女性のための丘の下から舟木石上座を拝する道【2】

舟木遺跡の位置と遺跡エリア 現在はすべて埋めもどされ、遺構は見られないが、平成28年度発掘調査で戦国工堀が出土した丘周辺へ行く道を探す







野島の上の傾斜地 シグザクの坂道の上の津名丘陵の最上部にある舟木集落を眺める【2】
2018.8.29. 11:05

北淡震災記念館 駐車場からながめる津名丘陵 舟木集落周辺 2018.8.29. 11:18

卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実に
弥生時代後期 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.

1. 淡路島の西北部海岸 野島海人の郷 野島
弥生後期の製塩工房 貴船神社遺跡 淡路市野島大川
2. 津名丘陵の山間地集落群の中心 交易拠点
弥生後期 鉄器加工など生産工房を持つ舟木遺跡 淡路市舟木

国生みの島 淡路島
淡路島北部を南北に走る津名丘陵。その西北域の海岸は航海術にだけた古代野島海人の里
航海術にだけ、朝鮮半島・日本各地と交易する淡路の海人の大和との密接な関係が記載
されている。
〔淡路島の海人のルーツは倭寇伝説のDPI〕
国生み神話の原形もこの海人たちの伝承を初期大和子孫が取り込んだとの説もある。
またこの弥生後期からは古墳時代初期にかけ、青後の丘陵には「舟木遺跡」を中心に山間地
集落群が出土し、集落には海人と密接な関係を示す鉄器加工・製塩などの生産工房があり、
交易拠点の姿が浮かび上がってきている。
鉄製産技術がなく、朝鮮半島の鉄に頼るこの時代、淡路島は畿内に先駆け鉄器文化を持ち込み、
その生産拠点として、国づくりの先鋒を走った実像が見えてきた。
国生みの神話が実像に、淡路島が注目されている。
国内最大級の船泊工務村 五斗長垣内遺跡の出土以来、何度もかけたこの淡路島北西部沿岸
の丘陵地ですが、五斗長垣内遺跡以外に山間地集落群を有したことが無し。
ぜひとも 舟木遺跡周辺を歩いてみたいという期待をつのらせながら、この道の終わりを淡路島へ

明石海峡越しに旗振り山から眺める淡路島北中央を南へ伸びる津名丘陵

卑弥呼・初期大和連合の国造りの始まり
畿内で 先駆けて鉄器文化を持ち込みにほんのくにつくりで役割を演じたとみられる
淡路島 国生み神話の実像が見えてきた。
巧みな航海術を持つ淡路島の海人たちが淡路島山間地に鉄・塩などの生産工房を持ち、
広く交易拠点として活躍し、日本の国造り「国生み」に役割を演じたろう。

また、この舟木集落の中心にある舟木石上神社・舟木石神坐（磐座）が、
女人製鉄として今尚祀られているのを知り、ひっくり。
卑弥呼のイメージもたぶらせ、思いつきがもしもれませんが、
国生み神話とこの津名丘陵と舟木集落の結びつきにも思いを馳せています。

津名丘陵に五斗長垣内遺跡に続く鉄器加工の出土に是非とも訪ねてみた
。うれしい津名丘陵の山間地集落の中心 舟木遺跡探訪となりました。

津名大橋を渡りながら 2018.8.29. Mutsu Nakanishi



卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実に
津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29.

「弥生の後期から終末期にかけて 畿内に先駆け、鉄器文化を持ち込み、交易を通じて国
造りに役割を演じたとみられる淡路島の海人たちの活躍の場がどこだったの
だろうか？」と好奇心一杯で、野島の海人の郷といわれる淡路島北西部海岸や 海人たちが密
接な関係にあったと考えられる津名丘陵の山間地集落群の中心舟木遺跡周辺の現地探訪の
様子をスライド動画にしました。

この「国生みの島・淡路島」の実像についての私の集めた資料は
このスライド動画と合わせて PDF fileにして 添付しています。

1. 概要資料 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29
国生み神話の淡路島が 卑弥呼の時代から古墳時代の日本の国造り謎を解き明かす？
◎ 淡路島北部 瀬戸内海を見晴らす古代の海人の郷 淡路市野島 史料
◎ 舟木遺跡 発掘の新聞・ピクセル並びに発掘調査資料
2. Photo アルバム
津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】探訪 2018.8.29
3. 津名丘陵の山間地集落群の中心【舟木遺跡】 関連資料整理リスト
◎ 和鉄の道・Iron Road 掲載リスト
◎ インターネットほかから 収集した関連資料リスト

by Mutsu Nakanishi

泉道1号 長島集落から眺める津名丘陵の山間に広がる棚田 2018.8.29. 10:04

■ 和鉄の道・Iron Road by Mutsu Nakanishi 【1】

1. 卑弥呼の時代を解き明かす？ 2018.3.23. 神戸新聞より
淡路島弥生後期の山間地集落群淡路市舟木遺跡。
弥生期の製鉄ヤス出土 海の民や北部九州とのつながりを示す？
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018iron16iron03.pdf>
2. 淡路島弥生時代の鉄器拠点「淡路市 舟木遺跡」鉄器の交易をなりわいか？
近くの五斗長垣内遺跡を上回る新たな「弥生の鉄器拠点 国内最大級の船泊工務村」が出土
■html: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron13/1702funaki00.htm>
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron13/1702funaki00.pdf>
3. 大阪弥生文化博物館2016年春季特別展第3回古学セミナー
淡路市教委 伊藤宏幸氏講演「淡路島 五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」
講演まとめ by Mutsu Nakanishi 2016.5.28
■html: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607awaji00.htm>
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607awaji00.pdf>
4. 淡路文化資料館 淡路市教育委員会 伊藤宏幸氏講演資料 2015.12.12.
「淡路島の弥生時代と山間地集落 五斗長垣内遺跡と舟木遺跡」
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/1506goutaku00.htm>
5. 弥生後期から卑弥呼の時代へ パールを脱いだ「弥生のIron Road 和鉄の道」
淡路島 五斗長垣内遺跡の謎 シンポ 2010.11.21. 聴講して
■html: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012gosa00.htm>
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012gosa00.pdf>
6. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ 国家形成の時代を動かした「鉄」
2010 年秋 関西各地で開催された特別展とそのシンポジウム & 連続講演会 講演まとめ
無手勝流で 鉄をキーワードに 弥生から邪馬台国・大和王権への変遷を整理
■html: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012nmko00.htm>
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1012nmko00.pdf>

■ 和鉄の道・Iron Road by Mutsu Nakanishi 【2】

7. 淡路島 秋帆銅鑄は出雲と同じ鋳型の兄弟銅鑄 2016.10.14.
国生み神話の出雲・淡路は強い結びつき
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016iron16iron14.pdf>
 8. 「伊弉諾神宮 国生み神話の島」淡路島で 大量の埋納銅鑄出土【1】
2015.5.20. 大和の進出による新勢力交代による 国づくりの始まりを示すのか ???
国生み神話の出雲の大量の埋納銅鑄出土(加茂岩倉・荒神谷遺跡)とそっくり
■html: <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/1506goutaku00.htm>
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/1506goutaku00.pdf>
 9. 「伊弉諾神宮 国生み神話の島」淡路島で大量の埋納銅鑄出土【2】 2015.7.1
南淡路でみつけた埋納銅鑄 松帆銅鑄(弥生時代前期末～中期前半)
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/2015iron15iron11.pdf>
- インターネット他 参考資料
- 国生み神話の淡路島が 卑弥呼の時代から古墳時代の日本の国造り謎を解き明かす？
1. 概要資料 淡路島日本遺産 弥生時代後期の山間地集落群の中心舟木遺跡 2018.8.25.
◎ 淡路島北部 瀬戸内海を見晴らす古代の海人の郷 淡路市野島
◎ 畿内に先駆け鉄器文化を取り入れ、
鉄器加工や製塩など生産工房を展開した山間地集落群の中心 舟木遺跡
■PDF: <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/14iron1806goutaku00.htm>
 2. 平成28年度 舟木遺跡の発掘調査成果について 淡路市教育委員会 2017.1.24.
資料アレンジ整理しました
■PDF: <http://www.hyogo-c.ed.jp/~board/bo/kyusa28/2901/290125funaki.pdf>
 3. 平成29年度 舟木遺跡の発掘調査成果について 淡路市教育委員会 2018.3.25.
資料アレンジ整理しました
■PDF: https://www.city.awaji.lg.jp/uploaded/attachment/22931_51066_misc.pdf
 4. 広報淡路 2018年5月号 近畿初の製鉄ヤスが出土 2018.5.5.
■PDF: <https://www.city.awaji.lg.jp/colcard/attachment/20384.PDF>

卑弥呼・大和連合諸国の流通・半島交易の拠点が淡路島？ 国生み神話が現実に
津名丘陵の山間地集落群の中心「舟木遺跡」探訪 2018.8.29.

国生みの島 淡路島 弥生後期の淡路島北部の津名丘陵
海人族と密接な鉄器加工・製塩などの生産工房を持つ山間地集落群が出土

毎日 明石海峡越しに眺める 淡路島 津名丘陵
国生みが現実に!!
でも 調査はまだ これから 楽しみにしています

2018.9.5. Mutsu Nakanishi

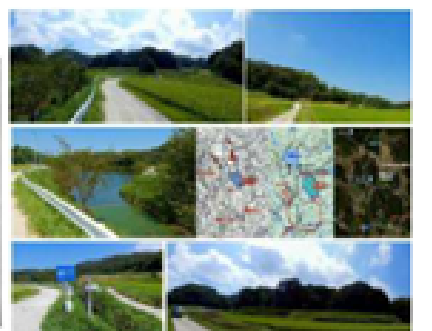
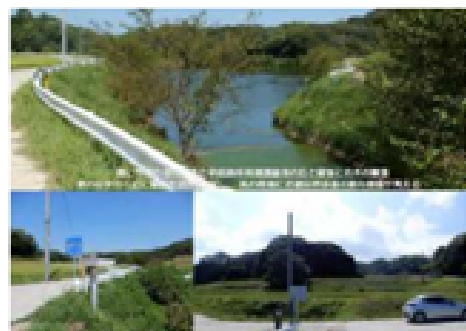
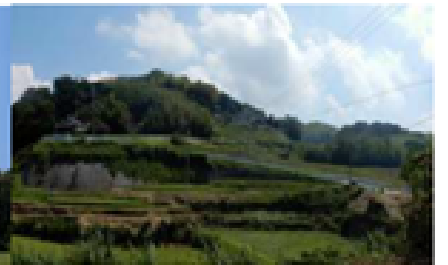
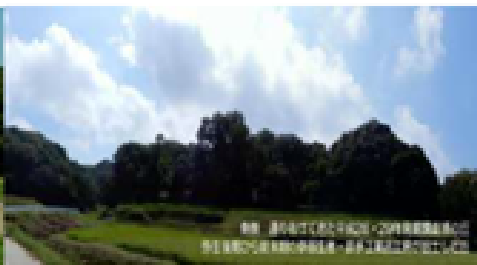


明石海峡越しに眺める山から眺める淡路島北部中央を河入岬のぼる

弥生時代後期 淡路島北部中央津名丘陵に 鉄器加工・製塩などの生産工房を有する山間地集落群が出現
淡路島の海人たちが 畿内・ヤマトに 先駆けて先進的な鉄器文化持ち込み、日本の国造りに貢献した。
津名丘陵の山間地集落群の中心「舟木遺跡」現地探訪 2018.8.29.



北の島入りの船が車道から眺める津名丘陵 (舟木遺跡の西側) 2018.8.29.



野島海岸を見下ろす津名丘陵頂上部の舟木集落沿って広がる弥生後期の山間地集落群の中心 舟木遺跡